

イベント名	ひきこもりを考える集い 『私たちの居場所』～ ^{あした} 未来のための、その ^い 居場所～
講師	シンポジスト ひきこもり経験者2名、ご家族1名、支援者1名 コーディネーター 小倉記念病院 緩和ケア・精神科 部長 三木 浩司 氏 北九州市ひきこもり支援センター「すてっぷ」 センター長 和田 修 氏
開催日時	平成30年8月4日（土）13:00 ～ 17:00
開催場所	総合保健福祉センター（アシスト21）2階講堂
参加者数	75名（ひきこもりの経験者・当事者、ご家族、支援者、など）
内容等	ひきこもりの問題に悩む家族や本人、関心を持つ市民に対し、ひきこもりへの理解を深め、問題の幅広い捉え方や望ましい関わり方について共に考える機会を提供することを目的に第一部はシンポジウム、第二部はグループでの語り合いを開催した。 第一部では、「私たちの居場所」をテーマにして、ひきこもり経験者2名、ご家族1名、支援者1名からそれぞれの体験談を発表していただいた。第二部では、ひきこもりに悩むご本人、ご家族同士での語り合いを行った。
参加者の声	<p>【第一部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当事者の方だけではなく、ご家族、支援者の方のお話を一度に聴くことができ、とても有意義でした。支援者としても解決、改善、回復を急がず向き合っていたらと思いました。 4名の方それぞれのお話に心うたれました。「ただ見守るだけでいい」という言葉は聞いた途端、涙がでました。本人を信じて見守る、やさしさ、あたたかい心もちたいと思いました。 経験者のお二人の壮絶な生き様、思いを聴かせていただき、心がふるえる思いです。社会の一般常識にふりまわされて、自分らしく生きづらい世の中であらためて居場所の大切さを感じました。 このような当事者の方々の思い、経験、現状が市民の方々に届くような場が、もっと地域社会に浸透して欲しいです。 <p>【第二部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当事者、ご家族と集まり、話す機会はなかなかないので貴重な経験でした。 当事者の方から実際の話聞いて、どのように接したらよいか、少しずつ見えてきたような感じです。また機会があったら是非参加してみたいと思います。